

調査実施日 平成31年1月10日(木)

生徒・保護者のみなさんへ

「平成30年度中学生チャレンジテスト(1・2年生)」を実施します。

大阪府教育委員会

調査の目的

- 大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力の状況をつかむことで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育にいかします。
- 生徒のみなさんが、自分の学習の到達状況を正しく知ることにより、自分の学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高めます。
- 大阪府教育委員会が、調査結果を使って、大阪府公立高等学校入学者選抜の調査書に記載する評定が、公平性の高いものであるかどうかを確認する資料を作成し、市町村教育委員会と学校に提供します。

調査の内容

- 対象：府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程及び特別支援学校中学部
並びに府立中学校及び支援学校中学部の第1学年、第2学年の生徒
- 教科：第1学年 国語、数学、英語
第2学年 国語、社会、数学、理科、英語
(英語は、第1・2学年ともリスニング問題を含む)
- 出題形式：選択式問題(選択肢から選んで答える問題)
短答式問題(短い語句や数値等で答える問題)
記述式問題(長い語句や文章等で答える問題)
- 調査時間：1教科あたり 45分



時間割

◆ 第1学年

1時限目	2時限目	3時限目
国語	数学	英語

◆ 第2学年

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目
国語	社会	数学	理科	英語

※開始時刻は、各学校で決めます。

結果の提供

◇ 結果は、生徒一人ひとりに個人票で提供されます。(平成31年3月中に学校から提供される予定です。)

生徒のみなさんに提供される個人票のイメージ

個人票には、以下の内容が記載されています

- 1 大阪府全体の得点ごとの生徒の割合
- 2 問題形式別のあなたの得点、大阪府の平均点
- 3 問題領域別のあなたの得点、大阪府の平均点
- 4 問題ごとのあなたの結果、大阪府の正答率等

個人票は、今後の学習に活用できます

- ◇ 自分の学習の得意なところや苦手なところがわかります。
- ◇ 間違った問題にもう一度取り組んだり、苦手分野の復習につなげたりすることができます。

国語

◆ 第1学年

※以下の題材を用いて、内容を正確に理解したり、適切に表現したりすることについて出題します。

《取り扱う題材》

- 漢字の読み・書き、言葉の特徴やきまり、伝統的な言語文化に関すること
- 文学的な文章、説明的な文章、古典など
- 児童・生徒が作成したもの、その他図表等を含むさまざまな種類の資料
- 書写（楷書）に関すること

◆ 第2学年

※以下の題材を用いて、内容を正確に理解したり、適切に表現したりすることについて出題します。

《取り扱う題材》

- 漢字の読み・書き、言葉の特徴やきまり、伝統的な言語文化に関すること
- 文学的な文章、説明的な文章、古典など
- 児童・生徒が作成したもの、その他図表等を含むさまざまな種類の資料
- 書写（行書）に関すること

社会（第2学年のみ）

・社会はA問題、B問題の2種類あり、各学校がどちらかを選択します。

◆ A問題 《出題範囲を取り扱うページ》

< 地理的分野 >

発行者	地理的分野	ページ
東京書籍	第2章 世界から見た日本の姿	P.156～P.263
	第3章 日本の諸地域	
教育出版	第2章 世界からみた日本のすがた	P.150～P.250
	第3章 日本の諸地域	
帝国書院	第2章 世界と比べた日本の地域的特色	P.150～P.265
	第3章 日本の諸地域	
日本文教出版	第2章 世界からみた日本の姿	P.150～P.254
	第3章 日本の諸地域	

< 地図 >

発行者	目次	ページ
東京書籍	統計	P.156～P.165
帝国書院	統計資料	P.156～P.164

◆ B問題 《出題範囲を取り扱うページ》

< 地理的分野 >

発行者	地理的分野	ページ
東京書籍	第1章 日本の姿	P.127～P.226
	第2章 世界から見た日本の姿	
	第3章 日本の諸地域	
教育出版	第1章 日本の地域構成	P.125～P.211
	第2章 世界からみた日本のすがた	
	第3章 日本の諸地域	
帝国書院	第1章 日本の姿	P.119～P.223
	第2章 世界と比べた日本の地域的特色	
	第3章 日本の諸地域	
日本文教出版	第1章 日本の姿	P.113～P.217
	第2章 世界からみた日本の姿	
	第3章 日本の諸地域	

< 地図 >

発行者	目次	ページ
東京書籍	統計	P.156～P.165
帝国書院	統計資料	P.156～P.164

※A・B問題とも上記以外のページにある資料（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

< 歴史的分野 >

発行者	歴史的分野	ページ
東京書籍	第4章 近世の日本	P.97～P.131 P.134～P.140
教育出版	第4章 近世の日本と世界	P.87～P.130
帝国書院	第4部 武家政権の展開と世界の動き	P.86～P.137
日本文教出版	第4編 近世の日本	P.96～P.145
育鵬社	第3章 近世の日本	P.97～P.135 P.140～P.150

※地図については、該当ページのうち< 地理的分野 >の教科書の出題範囲に関連する内容とします。

< 歴史的分野 >

発行者	歴史的分野	ページ
東京書籍	第4章 近世の日本	P.120～P.169
	第5章 開国と近代日本の歩み	
教育出版	第4章 近世の日本と世界	P.114～P.165
	第5章 近代の幕開け	
	第6章 近代の日本と世界	
帝国書院	第4部 武家政権の展開と世界の動き	P.118～P.171
	第5部 近代国家の歩みと国際社会	
日本文教出版	第4編 近世の日本	P.128～P.181
	第5編 近代の日本と世界	
育鵬社	第3章 近世の日本	P.124～P.181
	第4章 近代の日本と世界	

※地図については、該当ページのうち< 地理的分野 >の教科書の出題範囲に関連する内容とします。

数学

◆ 第1学年 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名		ページ
東京書籍	1章 正負の数	4章 比例と反比例	P.8～P.164
	2章 文字と式	5章 平面図形	
	3章 方程式		
学校図書	1章 正の数・負の数	4章 比例と反比例	P.12～P.189 ◆P.168の一部（おうぎ形についての表記）を除く
	2章 文字式	5章 平面図形	
	3章 1次方程式		
教育出版	1章 正の数、負の数	4章 比例と反比例	P.9～P.191 ◆P.171（おうぎ形についての表記）を除く
	2章 文字と式	5章 平面図形	
	3章 方程式		
啓林館	1章 正の数・負の数	4章 変化と対応	P.12～P.157
	2章 文字の式	5章 平面図形	
	3章 方程式		
数研出版	第1章 正の数と負の数	第4章 比例と反比例	P.12～P.161
	第2章 文字と式	第5章 平面図形	
	第3章 1次方程式		
日本文教出版	1章 正の数と負の数	4章 比例と反比例	P.10～P.187 ◆P.168の一部（おうぎ形についての表記）を除く
	2章 文字と式	5章 平面図形	
	3章 方程式		

◆ 第2学年 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	1章 式の計算	P.8～P.121
	2章 連立方程式	
	3章 1次関数	
	4章 平行と合同	
学校図書	1章 式の計算	P.12～P.137
	2章 連立方程式	
	3章 1次関数	
	4章 図形の性質の調べ方	
教育出版	1章 式の計算	P.9～P.140
	2章 連立方程式	
	3章 1次関数	
	4章 平行と合同	
啓林館	1章 式の計算	P.12～P.117
	2章 連立方程式	
	3章 一次関数	
	4章 図形の調べ方	
数研出版	第1章 式の計算	P.14～P.127
	第2章 連立方程式	
	第3章 1次関数	
	第4章 図形の性質と合同	
日本文教出版	1章 式の計算	P.10～P.134
	2章 連立方程式	
	3章 1次関数	
	4章 図形の性質と合同	

※第1・2学年とも上記以外のページにある資料（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

理科（第2学年のみ）

・理科はA問題、B問題の2種類あり、各学校がどちらかを選択します。

◆ A問題 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	単元1 化学変化と原子・分子	P.10～P.83
	単元2 動物の生活と生物の変遷	P.84～P.153
	単元4 電気の世界	P.224～P.243
大日本図書	単元1 化学変化と原子・分子	P.7～P.80
	単元2 動物の生活と生物の進化	P.81～P.158
	単元3 電流とその利用	P.162～P.187
学校図書	A-3 化学変化と原子・分子	P.5～P.64
	A-4 電流とそのはたらき	P.68～P.94
	B-3 動物の世界	P.141～P.216
啓林館	生命 動物の生活と生物の進化	P.2～P.63
	物質 化学変化と原子・分子	P.118～P.181
	エネルギー 電流の性質とその利用	P.184～P.206

◆ B問題 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	単元1 化学変化と原子・分子	P.10～P.83
	単元2 動物の生活と生物の変遷	P.84～P.153
	単元3 天気とその変化	P.156～P.173
大日本図書	単元1 化学変化と原子・分子	P.7～P.80
	単元2 動物の生活と生物の進化	P.81～P.158
	単元4 気象のしくみと天気の変化	P.234～P.260
学校図書	A-3 化学変化と原子・分子	P.5～P.64
	B-3 動物の世界	P.141～P.216
	B-4 天気とその変化	P.220～P.243
啓林館	生命 動物の生活と生物の進化	P.2～P.63
	地球 地球の大気と天気の変化	P.66～P.91
	物質 化学変化と原子・分子	P.118～P.181

※A・B問題とも上記以外のページにある資料（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

英語

◆ 第1学年 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Hi, English! Unit0～9 Presentation2	P.4～P.105
開隆堂	Let's Start PROGRAM1～9 Power-up⑨Reading	P.6～P.97
学校図書	Pre-lesson Let's Start Lesson1～8	P.4～P.106
三省堂	Get Ready Lesson1～8	P.6～P.105
教育出版	Springboard Lesson1～7	P.2～P.96

◇ 第1学年 《取り扱う言語材料》

- 単文、重文
- 肯定及び否定の平叙文（現在形）
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち、動詞（現在形）で始まるもの、助動詞（do, does）で始まるもの及び疑問詞（how, what, where, who, whose）で始まるもの
- 名詞の単数形及び複数形
- 文構造
 - [主語＋動詞]
 - [主語＋動詞＋補語]のうち、主語＋be動詞＋{名詞 代名詞 形容詞}
 - [主語＋動詞＋目的語]のうち、主語＋動詞＋{名詞 代名詞}
- 代名詞
 - 人称、指示、疑問を表すもの
- 動詞の時制など
 - 現在形
- 音声に関するもの

★第1・2学年とも出題は《出題範囲を取り扱うページ》から行います。ただし、文法事項については、《取り扱う言語材料》に記載しているもののみとします。

※第1・2学年とも上記以外のページにある資料（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

◆ 第2学年 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Unit0～6	P.4～P.89
開隆堂	Classroom English PROGRAM1～8	P.6～P.79
学校図書	Pre-lesson Lesson1～Check It Out⑧	P.6～P.99
三省堂	Lesson1～7	P.6～P.91
教育出版	Lesson1～7	P.4～P.88

◇ 第2学年 《取り扱う言語材料》

- 単文、重文及び複文
- 肯定及び否定の平叙文
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞（can, do, mayなど）で始まるもの、orを含むもの及び疑問詞（how, what, when, where, which, who, whose, why）で始まるもの
- 文構造
 - [主語＋動詞]
 - [主語＋動詞＋補語]のうち、主語＋be動詞＋{名詞 代名詞 形容詞}、主語＋be動詞以外の動詞＋{名詞 形容詞}
 - [主語＋動詞＋目的語]のうち、主語＋動詞＋{名詞 代名詞 動名詞 to不定詞 thatで始まる節}
 - [主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語]のうち、主語＋動詞＋間接目的語＋{名詞 代名詞}
 - There ＋ be動詞＋～
- 代名詞
 - 人称、指示、疑問、数量を表すもの
- 動詞の時制など
 - 現在形、過去形、現在進行形、過去進行形及び助動詞などを用いた未来表現
- to不定詞
- 動名詞
- have to, don't have to
- 音声に関するもの

日々の学習や苦手分野の復習に役立つ情報については、大阪府教育庁市町村教育室小中学校課及び大阪府教育センターのWebページに掲載していますので、ご活用ください。

「ワークブック」<http://wwwc.osaka-c.ed.jp/kate/karicen-folder/workbook-for-pref/workbook-index.htm>

「力だめしプリント」<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/chikarasyoukai/index.html>

大阪府公立高等学校入学者選抜調査書評定の府内統一ルール（1・2年生）について

① 府教育委員会は、それぞれの学年の2学期末までの府内公立中学校の評定の状況と、1月に実施したチャレンジテストの結果を使って、評定ごとにチャレンジテストの点数分布を整理した「評定の範囲」を定めます。

[例] 平成29年度の2年生国語の「評定の範囲」

	評定5	評定4	評定3	評定2	評定1
国語	100点～72点	100点～61点	94点～40点	80点～16点	68点～0点

② 各中学校は、自校の評定ごとのチャレンジテストの得点分布と、府教育委員会が設定した「評定の範囲」を比べ、適切な評価が行われているか検証します。「評定の範囲」と自校の得点分布の間に差異があり、「評定の範囲」に収まらなかった場合は、当該教科の評価の方法の見直しを行った上で、評定をつけます。

※事業の一部（調査問題の配送・回収、採点・集計等）は、大阪府教育委員会が民間機関に委託して実施します。